



Department of International Development Studies
College of Bioresource Sciences Nihon University

日本大学 生物資源科学部 国際地域開発学科



国際的に活躍する人、社会貢献をする人を創る

国際地域開発学科の
特色・魅力

文理融合教育で 国際的に躍動できる人材育成

世界の食料不安、貧困、環境問題などの解決のため、
地域の特質、人々の生活と異文化を理解した上で、
開発途上国の経済、社会開発、農業など第一次産業にかかわる技術協力、
環境保全などのパートナーシップを築くことのできる人材を育成します。
「経済・開発」「環境・資源」「地域・文化」の3部門を複合的に学び、
開発途上国における諸問題の発見や具体的な解決手法を習得します。
国際人として世界で活躍できる実践的な語学力の習得や、
海外での「フィールドワーク」「インターンシップ」を積極的に支援し、
実践力の養成に役立てます。

NATURAL × SOCIAL

学べる3つの分野

Environment

環境・資源

地球はどこまで
人類を養えるのだろうか？



開発途上国の農業技術協力、
環境保全などの分野での専門
家の育成をめざします。

Development

経済・開発

豊かさとは何か？
貧困はなぜ起こるのか？



開発途上国・地域の農業・農村
を中心とした経済開発・生活水
準の向上はどのように行われ
るのが望ましいかを中心に学
習します。

Region

地域・文化

コミュニケーション

人と地域をどのように
理解すれば良いのか？



世界のさまざまな地域に暮らす
人々とコミュニケーションを
行うために語学力を身につけ、
対象地域の「文化」や「社会」を
深く、かつ総合的に学習します。

自然科学系

CURRICULUM

学際性・多様性のある講義

実験・実習・研修

少人数教育

語学教育

将来「つきたい職業」、「やりたい仕事」への思いを形に・・・
必要なコースやプログラムを自分で選択できるカリキュラム

進路に応じた
カリキュラム

1年次 基礎学力を上げます

- 国際社会の現状に触れます。
- 外国語を強化します。
- 大学教育の基礎固めをします。

【必修科目】

- 国際地域開発学入門
- 国際協力論
- グローバルビジネス論
- 国際キャリアデザイン
- 英語コミュニケーションI
- 外国語基礎
- 外国語コミュニケーション
- 環境生態学
- スタディスキルズA
- スタディスキルズB

【選択科目】

- 国際地域開発フィールドワークIA※
- 国際地域開発フィールドワークIB※

※ 国内外において長期休暇などを利用して、学修で定める基準を満たす農薬、開発等のフィールドワークを実施した学生に対し、提出された報告書を確認の上、単位認定します。

2年次 2コース / 6プログラム

2コースに分かれます

- 「農業・農村開発コース」と「グローバルビジネスコース」のどちらかを選択し、専門性を高めます。

6つのプログラム活用

- 興味ある分野を選択し、実践的技術を身につけます。
- 各開講科目のうち、必要な単位数を修得します。

【必修科目】

- 熱帯資源作物学
- 経済学の基礎
- 農村社会学基礎
- 経営学の基礎

【選択科目】

- 地域研究
- 開発課題研究
- 国際地域開発フィールドワークIIA※
- 国際地域開発フィールドワークIIB※

2コース

農業・農村開発コース
● 国際技術実習(必修)

選択

グローバルビジネスコース
● 経済・環境情報経営実習(必修)

開発課題6プログラム

1. 農業分野

- 農業技術の開発と普及
- 資源作物学実験
- 熱帯産物学

2. 環境分野

- 環境農学
- 水と土の保全学
- 環境感字実験
- 環境安全工学実験実習

3. アグリビジネス分野

- アカウチインテグレーション
- 農業経済学

6. 英語インテグレーションプログラム

- TOEIC 対策総合英語IA
- TOEIC 対策総合英語IB
- 英語コミュニケーションIA
- 英語コミュニケーションIIB

3年次 研究室所属 / 就職活動開始

研究室に所属します

- より専門性の高い研究室に入ります。卒論の準備も始まります。就職活動が始まります。
- 学部のサポートと学科の独自の支援(※2)を用意しています。

(※2) 学科独自の支援

- ・TOEIC対策
- ・公務員試験対策講座
- ・開発協力ポランティア養成プログラム

【必修科目】

- 国際地域開発キャリア研究

【選択科目】

- 専門外国語論
- 国際地域開発実習IA
- 国際地域開発実習IIB
- 国際地域開発フィールドワークIIA※
- 国際地域開発フィールドワークIIB※

2コース

農業・農村開発コース
● 社会調査法(必修)
● 農業・農村協力の開発

選択

グローバルビジネスコース
● アイデンティティ入門(必修)
● アグリビジネス実習

開発課題6プログラム

1. 農業分野

- 農業生態学
- 作物と食の文化
- 熱帯生物資源論
- 農業フィールドワーク

2. 環境分野

- 地域環境保全工学
- 環境経済学
- 環境情報利用学

3. アグリビジネス分野

- アグリビジネス論
- 農村社会学
- 農産物流通論
- 農業経営学

6. 英語インテグレーションプログラム

- TOEIC 対策総合英語IA
- TOEIC 対策総合英語IIB
- 英語コミュニケーションIIA
- 英語コミュニケーションIIB

4年次 卒業研究に 取り組みます

- 4年間の集大成として、自分で決めた研究テーマに取り組みます。

【必修科目】

- 卒業研究

【選択科目】

- 国際地域開発実習IIA
- 国際地域開発実習IIB

開発課題6プログラム

6. 英語インテグレーションプログラム

- 英語コミュニケーションIA
- 英語コミュニケーションIIB

実験・実習 野外教育

実践的な教育

EXPERIMENT/PRACTICE/TRAINING

学際的な学科の特徴を活かして、講義ばかりでなく、実験・実習、野外教育にも力を入れています。自然科学から社会科学や人文科学まで実験・実習を行える学科は他にはありません。

地域研究

国別、地域別など、一定のまとまりを持った地域を理解するために、自然、歴史、文化、経済、社会などを幅広く学習します。地域の理解を通して地域研究とは何かを知り、国際的な視野を広げることができます。



農業技術 実習

授業で受けた農業や作物の知識を、実際に作物や家畜の世話をするこことにより深く理解するための実習です。農業の現場に関する知識と技術を習得します。



経済・環境 情報処理実習

農村社会や文化に関する調査に必要なデータの集め方、読み方から分析手法までを、パソコンを用いて実習します。データ収集・分析の基礎理論を理解し、分析手法を習得します。



環境農学 実験

食料生産と環境要因との関係を探るための実験・調査手法を学ぶ実験です。食料生産や環境問題の本質を理解することにも、卒業研究を遂行するための実験・調査手法も習得します。



資源作物学 実験

作物の生理、生態的特性を学ぶ実験です。作物、昆虫、土壌など農業に関係する対象について様々な実験を行い、実験計画に基づいて圃場試験を実施し作物の成長解析を行います。



環境保全工学 実験・実習

土壌・水・植物を利用した理化学系の基礎実験、圃場・温室などの設備を利用した工学系の実習を行います。講義レベルから研究レベルに進むための基礎知識を身につけます。



海外研修

アジア、アフリカの途上国で技術協力現場の視察を実施したり、現地の大学教員や専門家から講義を受けることができます。また、途上国の学生との意見交換や異文化交流、ディスカッション等を行います。



実践と知識の出会いが、 あなたを強くする

LABORATORY

自然科学系と社会科学系、人文科学系の
3分野に分かれ専門性の高い研究を
行っていきます。

研究室 紹介



- 国際環境生態研究室
- 国際開発研究室
- 国際環境経済研究室
- コミュニケーション・言語研究室
- 比較文化研究室

- 国際環境保全学研究室
- 農業経済研究室
- 国際経営・流通研究室
- 国際文化研究室

- 熱帯資源作物研究室
- 国際経済研究室
- 国際協力研究室
- 国際社会研究室



活躍する 卒業生

国際地域開発学科で学び、社会へと羽ばたいていった先輩たちが、学科時代になにを学び、どんなことを考えながら「いま」と「将来」を見据えていたのか。色々な事があった大学生生活を振り返りながらメッセージを頂きました。

2001年 国際地域開発学科卒業

中島 紀昌さん
トキタ理恵株式会社 勤務



**種は農業の出発点。
だから作る人にも
食べる人にも
嬉しい種を届けたい**

種は農業の出発点にあるものです。種から野菜を作る生産者がいて、運ぶ人、売る人、料理する人、食べる人など、種は野菜になり大勢の手を渡り食卓に届きます。そのすべての方に喜ばれる種にするために、育種家には味だけでなく保存性や形、調理のし易さなど、幅広い視点や視野を持つことが求められます。私はそれゆえ日頃からラボを飛び出し、生産者や消費者、シェアとさまざまな方と意見交換し仕事をしています。国際地域開発学科で、真っ先に門を叩いた酪農資源作物研究室が私の出発点です。シコクビエのルーツを探り、その音えがシルクロードにあることを突き止め、実際に中国まで種を見に行きました。勉強とバイトに動かし、長期休暇は海外中を旅し、大いに見聞を広げられた4年間でした。



2007年 国際地域開発学科卒業

堀 真理子さん

NTC インターナショナル株式会社
企業本部企画営業部 勤務

**途上国の農業・農村に、
人材という種子を
広げています**

中学生の頃から青年海外協力隊に興味があり、海外でのフィールドワークを重視している国際地域開発学科に入学しました。卒業後は、留学や海外での支援活動を続けていましたが、専門知識を高め、より大きな舞台で国際協力に関わりたいと思い、農業・農村開発に強みのあるこのコンサルタント会社に入社しました。現在の主な仕事は、アンゴラの稲作開発プロジェクトです。1年の半分は現地に赴任し、農業普及員や行政官の研修指導などに当たっています。そうした人たちが私たちと仕事をすることで自信を持ち、懸命に農村を巡回するのを見ると、やりがいを感じますね。また、遠い国で貴重な文化や風習に触れることができるのも、この仕事の喜びです。

隅田 夕希乃さん

海外留学からみえた自分のやりたいこと



私は長期留学を目標に国際地域開発学科に入学しました。しかし、1年次は自分に留学するだけの経済力も英語力もなく、両親に猛反対されてしまいました。それでも諦めきれなかった私は、まずフィリピンで短期の語学留学をしました。その後も2回フィリピンに渡航し、英語を猛勉強したところTOEICの点数を450点UPすることができました。これが両親に認められ、さらにフィリピンへの渡航を通じて、海外で働いてみたいと思うようになったことから、アメリカ・サンフランシスコでのインターンシップに参加することにしました。アメリカで働く中でさらに自分の夢が広がり、海外での就職を真剣に考えるようになりました。国際地域開発学科では留学やインターンシップに参加することを積極的に応援してくれました。卒業後はアメリカでもう一度1年間インターンシップをする予定です。その後はアメリカやカナダ、オーストラリアで夢を実現したいと思っています。

郷間 普大さん

**様々な国での農業経験を活かして
未来の農業を考える**



国際地域開発学科に在籍した4年間で、研修やファームステイをするために海外に8回渡航しました。最初は農業支援のNGO団体の会員としてザンビアへ渡り、現地で交流活動を行いました。2年生の夏には学科の海外研修でインドネシアの村へ、3年時には夏と春にイギリスとイタリアの農家へファームステイし、農作業や作物の販売の手伝いをしました。いずれも、貴重な経験をすることができました。学科の課題では農業経営や栽培技術など多くのことを学ぶことができ、大学生活で経験したことは一生の財産になると感じています。卒業後はICTを用いて農業と携わる仕事をします。

**在学中の
学生たち**

国際地域開発学科での
学びや学生生活のことなど
語っていただきました。

MESSAGE

ENTRANCE EXAM

3種類の入試方法

入試情報

入試試験には、一般選抜と学校推薦型選抜、総合型選抜の3種類があります。入試によって日程や内容が異なりますので、よく調べて自分に合った入試方式を選択してください。また、詳細は入学試験要項を必ずご確認ください。

※さらに詳しい情報は入学センター(TEL.0466-84-3812)まで資料をご請求ください。

入試追加情報

- 一般選抜A個別方式は日本史B、世界史B科目選択での受験が可能です。
- 国際地域開発特別推薦は推薦基準にGTEC(4技能)960点以上が追加されました。

試験方式	募集人員	出願締切日	試験日	合格発表日	試験教科
A個別方式 第1期	40名	令和3年 1月25日(月)	令和3年 2月2日(火)	令和3年 2月10日(水)	外国語(※1) 国語・数学・理科・地理歴史及び公民(※2)
A個別方式 第2期	12名	令和3年 2月11日(水・祝)	令和3年 2月17日(水)	令和3年 2月26日(金)	外国語(※1) 国語・数学①・理科・地理歴史及び公民(※2)
N全学統一方式 第1期	8名	令和3年 1月22日(金)	令和3年 2月1日(月)	令和3年 2月10日(水)	外国語(※1) 国語・数学①・理科・地理歴史及び公民(※2)
N全学統一方式 第2期	3名	令和3年 2月25日(水)	令和3年 3月4日(水)	令和3年 3月13日(土)	外国語(※1) 国語・数学①・理科・地理歴史-公民(※3)

区分	募集人員		出願期間	試験日	合格発表日	選考方法
	指定校制	公募制				
学校推薦型選抜	100名(学部全体※4)	令和2年11月6日(金) ～11月12日(水)	令和2年11月6日(金) ～11月12日(水)	令和2年 11月21日(土)	令和2年 12月1日(火)	①書類選考 ②面接 ③面接
	公募推薦100名(学部全体)	期選考後後援者推薦26名 (学部全体)				
校友子女	20名(学部全体)	若干名				①書類選考 ②面接

募集人員	出願期間	1次選考 合格発表日	2次選考 試験日	合格発表日	選考方法

(※1)必須 (※2)2教科2科目選択 必ず「地理歴史」・「公民」欄の組み合わせ不可 (※3)1科目選択 (※4)2次選考科目を除く

(※5)出願書類-志願理由書-小論文課題-出身学校推薦書等を基に行う

就職、進学...

将来への道筋を学科が独自にサポート

グローバル化の進展に伴って、国際感覚が豊かな人材のニーズが高まっています。皆さんが希望する進路に踏み出せるよう、学部・学科による就職支援を行っています。

TOEIC対策

公務員試験対策講座

開発協力ボランティア養成プログラム

取得可能な免許・資格

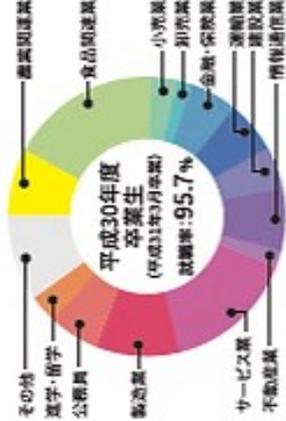
- 高等学校教育1種免許(公民・農業)
- 中学校教諭1種免許(社会)
- PCM(Project Cycle Management)
- 普及指導員(卒業後4年の受講が必要)
- 自然再生士補
- 農業技術検定2級(実技試験免除)
- 学芸員

就職実績

卒業生の就職先は、グラフに示すように農業、製造業に始まり、卸売・小売業、金融・保険業、サービス業、公務員など、多様な業種・業界に広がっています。卒業生の中には、海外での活躍を求められる即戦力として期待されている人もいます。また、青年海外協力隊員として海外の開発の現場で活躍する人も数多くいます。

最近の主な就職先

- 全日本空輸(株)、山崎製パン(株)、(株)日本旅行、野村證券(株)、
- 東日本旅客鉄道(株)、(株)星野リゾート、(株)JTB、(株)JALスカイ、
- 日本通運(株)、(株)ゆうちょ銀行、神奈川県 青年海外協力隊、
- 賢視庁、さがみ農業(株)、イオンリテール(株)、日本郵便(株)、
- 第一生命保険(株)、三井生命保険(株)、横浜市のANAエアポート
- サービス(株)



国際地域開発科学科の集計による

日本大学 生物資源開発科学部 国際地域開発科学科

〒252-0813

神奈川県横浜市磯野1866

(小田急江ノ島線「六会日大前」駅下車、徒歩3分)

TEL/FAX:0466-84-3471

E-mail:brs.ids@nihon-u.ac.jp

http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~ids/



▲ 学科学点



▲ 入試要項

